



診療顧問・外科部長
横山 幸生

最近のトピックス Topics

されど胆石～意外と知られていないこと

いつも医療連携にご協力ご支援いただきありがとうございます。

今回は胆嚢胆石症にかかわる意外な点について、最近9年間に当科で行われた胆嚢摘出術（以下、胆摘）427例のデータをもとに参考資料を交えながら、お話しします。

胆石の危険因子

3F: Female (女性)、Fourty (40代) とFatty (肥満)、に多いといわれてきました。

第50回日本胆道学会学術集会記録によりますと、1997年の調査では男女比1:1.3であったものが、2013年の調査では1:0.9と逆転しています。

日本人の男女別BMIは1983年に逆転したあと差は広がるばかり、これを反映したものでしょうか。胆嚢胆石症患者の受診時平均年齢は、1997年の調査では56歳であったものが、2013年には64歳と高齢化がみられます。当科では1:1.5とまだまだ女性に多いのですが、平均年齢は60歳(17-94)と高齢化の傾向がみられました。一方、最近4年間の症例では30代の割合が13%と倍増していることが気になります(図1)。その平均BMIは24.3(17.1-37.0)、肥満といわれるBMI 25以上の比率は33%と、令和元年の国民健康・栄養調査報告と比較しても高い。胆石のリスクファクターとなる疾患の合併率は43%でした。既にTuckerらは、肥満人口の増加とともに腹腔鏡下胆摘を受ける若年者数が増加したことを2014年に報告しています。更にSchwabらは胎児胆石について2022年に概説しています。胎児に胆石があるなんて驚きです。

胆摘の長期予後

当科では胆摘の92%に腹腔鏡下胆摘が行われました。たかが胆摘と思われるかもしれませんが、2011年にRuhlらが発表した胆石症患者の死因に関する疫学研究で、胆石症患者の長期予後は非胆石症患者に比べ不良。しかも胆摘した人は糖尿病死のリスクが高くなることが指摘され

ています。Frostらは、胆摘後には腸内細菌の多様性が低下し、日和見菌が増加することを2021年に報告しました。若年であれば胆摘後の期間は長いいため、健康への悪影響が懸念されます。

予防法

胆石の成因には胆汁組成のアンバランスと胆汁うっ滞に関わる因子が絡んでいます(図2)。介入しやすいところは生活習慣の改善です。月並みとはいえ、バランスの取れた食事、適度な運動と体重管理が重要であることに変わりはありません。当科では栄養士さんから食事指導を受けていただき、次なる胆石ができないことを願うところです。

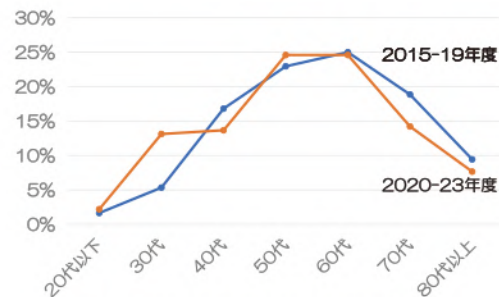


図1. 年代別胆嚢摘出時の年齢層の割合

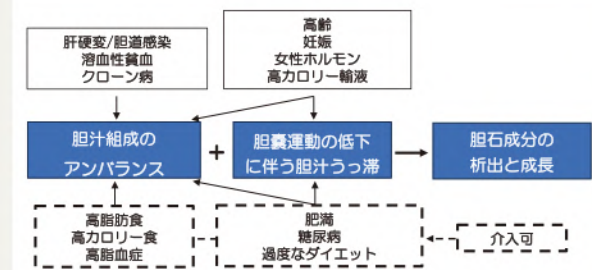


図2. 胆石の成因

理念

私たちくまもと森都総合病院は質の高い医療を通じて地域に愛され、親しまれる病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。
2. 地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。
3. 優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。



つながる医療。ひろがる未来。

医療法人 創創会

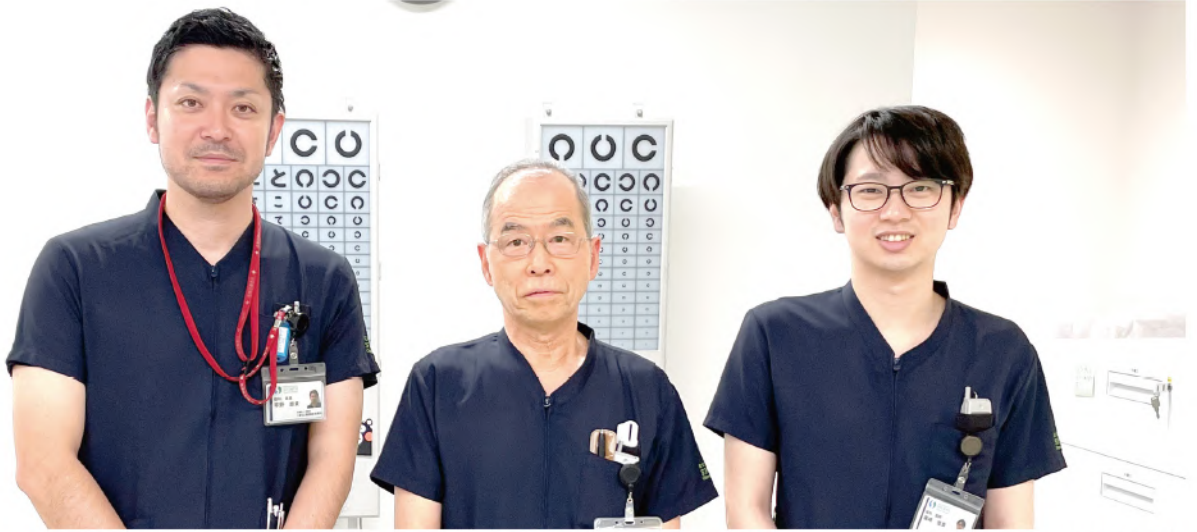
くまもと森都総合病院

〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65

TEL 096-364-6000 (代表)

FAX 096-362-5204

<https://www.k-shinto.or.jp>



左から 草野雄貴医師、松本光希診療顧問、藤崎雅彦医師

診療科紹介 眼科

2人の常勤医と1人の非常勤医師で様々な眼科疾患に対応しています。先生方の患者さんの中で、眼疾患でお悩みの方がおられましたら、是非当院にご紹介をお願いいたします。診断から治療まで心を含めた医療を提供させていただきます。特に、白内障、角膜疾患、眼瞼結膜疾患や涙道疾患に対する手術に力を入れています。

白内障：

加齢に加え、種々の原因で水晶体が混濁してくる疾患が白内障です。視力低下によりQOLの低下を来します。点眼薬などの薬剤では改善しませんので、手術が必要になります。小切開で行う水晶体再建術+眼内レンズ挿入術が主流で、進行した白内障、散瞳不良や角膜混濁がある難症例に対しても工夫を凝らして手術を行っています。ただ、保険診療に該当しない累進焦点眼内レンズは取り扱っていません。

角膜移植：

当院は、県下では角膜移植を行っている主たる医療施設で、通常の全層角膜移植、深層角膜移植などの表層角膜移植に加え、角膜内皮移植(DSAEKやDMEK)が可能になりました。内皮移植は術後の乱視が少なく、視力回復にかかる時間が短い優れた手術です。ドナー角膜は国内だけでなく米国からの輸入角膜も使用しています。

角膜潰瘍：

細菌、真菌、ウイルスやアcantアメーバによる感染性角膜潰瘍とアレルギー機序で起こる非感染性角膜潰瘍があります。当科では初診時に感染性が疑われる症例に対しては起炎微生物検索のための角膜擦過を行い、軽症例以外は入院治療を行っています。若年者に見られるソフトコンタクトレンズ

装用に関連した緑膿菌角膜炎が多いですが、難治性の角膜真菌症も散見されます。アレルギー機序で起こる周辺部角膜潰瘍は関節リウマチに合併したものの、モーレン潰瘍、カタル性角膜潰瘍などがあり、治療はステロイド薬が主体になります。

眼瞼疾患：

眼瞼下垂に対する上眼瞼挙筋短縮術や上眼瞼皮膚切除術、眼瞼内反症に対する眼輪筋短縮術やJones法、睫毛内反症に対する糸掛け術(埋没法)の他、眼瞼腫瘍に対する手術を積極的に行っています。

結膜疾患：

翼状片に対する弁移植術(有茎と遊離)、SCCなどの結膜腫瘍に対する手術を行っています。

涙道疾患：

流涙や眼脂を生じる鼻涙管閉塞や慢性涙囊炎に対する涙囊鼻腔吻合術(鼻外法)を積極的に行っています。また、頑固な膿性眼脂が続く涙小管炎は、涙点~涙小管内の菌塊(石)の排出が必要です。その他、自然治癒が得られない乳幼児の先天性鼻涙管閉塞に対しては全麻下に開放術+N-S tube留置術(数週後に抜去)を行っています。

外傷(角膜、眼瞼)：

角膜異物は、動力草刈り機使用時の鉄片や栗収穫時のイガが多く、術場で摘出を行っています。また、角膜破裂や眼瞼裂傷(涙小管断裂)に対する手術も可能です。

(眼科医長 草野 雄貴)

『Shinto公開医学講座』のご案内

テーマ 基本的緩和ケアと専門的緩和ケア

日時 2024年6月20日(木) 17:30~

開催方法 ハイブリッド開催 (Web参加も可能です)

場所 くまもと森都総合病院 5F 大会議室

参加方法 下記URLもしくはQRコードよりお申し込みください。お申し込み確認後、招待メールをお送りさせていただきます。
(<https://bit.ly/4dCF10n>)

講師 緩和ケア科 部長 橋口 清明



腫瘍内科新設の お知らせ

腫瘍内科部長
山本 春風
Harukaze Yamamoto



現在、がん薬物療法専門医（日本臨床腫瘍学会）の山本が診療を行っております。いわゆる「がん（悪性腫瘍）」は、大きく血液腫瘍と固形腫瘍に分かれます。当院の腫瘍内科は主に、固形腫瘍の抗がん剤治療を担当しております。

日本人の2人に1人は、一生の間に何らかのがんに罹患する時代となり、がん患者さんは増加し続けています。医学の進歩により、抗がん剤の種類も増え続けており、従来の抗がん剤である殺細胞性抗がん薬に加え、分子標的治療薬、がん免疫療法薬など、種類も豊富になってきました。さらに、がん細胞の遺伝子を網羅的に検査して治療につなげる、がん遺伝子パネル検査も使用されるようになり、抗がん剤治療は複雑化しています。抗がん剤による副作用管理も難しくなっています。特にがん免疫療法薬の一つである、免疫チェックポイント阻害剤の副作用は多岐にわたります。従来の殺細胞性抗がん薬と異なり、発現する時期の予測がしづらく、命に関わるような重篤な副作用が出現することも稀ではありません。副作用が発現した



▲外来化学療法室

場合、早期に適切な対処を行うことの重要性が増しています。またがん治療の発展により、患者さんの予後も長くなってきています。腫瘍内科医は、抗がん剤治療の専門医として、効果の高い抗がん剤治療の選択と適切な副作用管理を行うことで、患者さんが長く上手にがんにつきあっていけるようにいたします。

がん患者さんの診療には、医師（外科系医師、腫瘍内科を含む内科系医師、放射線科医師、緩和ケア科医師）、薬剤師、看護師、その他コメディカルの方々によるチーム医療が欠かせません。当院には、乳腺外科、外科、肝臓・消化器内科など複数の専門科があります。がんリハビリテーションを得意とするリハビリテーション科やがん相談支援センターもあります。各診療科・部門と連携を図りながら、熊本県指定がん診療連携拠点病院として、最善の集学的治療が行えるよう努めて参ります。

またがん細胞の遺伝子検査が行われるようになり、遺伝性の腫瘍と発覚する機会が増えてきています。遺伝性腫瘍とわかった場合、その腫瘍はもはや本人のみの問題に留まらず、血縁者に広く関わってくる問題となります。遺伝性腫瘍に関わる遺伝子変化をもつ方が、長く健康に生きていけるよう相談していく場として、遺伝カウンセリングがあり、当院の乳腺センターの中に設置されています。今後、腫瘍内科で遺伝カウンセリングについても関わっていけるよう、各診療科・部門と相談していきたいと考えております。

2024年4月に当院で腫瘍内科が発足しました。



総合診療科 医師 **濱 諒輔** Ryosuke Hama

総合診療科の濱と申します。当科では他の診療科と連携をとり、内科全般にわたって診療を行っています。特定の臓器・疾患に限定せず多角的に診療を行うよう心がけており、様々な症状で受診される患者さんについて、出来るだけ迅速に適切な診断・治療に繋がるように努力しております。個々人に沿った医療を提供出来るよう精進しますので、御指導御鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

まだまだ勉強中の身ではありますが、少しでも患者さんや地域の先生方のお役に立てるよう尽力致します。御迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



肝臓・消化器内科 医師 **泉 見奈** Mina Izumi

4月1日からお世話になります肝臓・消化器内科の泉と申します。熊本総合病院より移って参りました。まだまだ勉強しなければならない身ではありますが、丁寧な診療を心掛けていきたいと思っております。様々な病院の先生方に患者さんの件でお願いさせていただくこともあるかと思われまので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



眼 科 医師 **藤崎 雅彦** Masahiko Fujisaki

2024年4月よりくまもと森都総合病院の眼科へ赴任しました藤崎雅彦と申します。鹿児島に生まれ、熊本で育ちました。真和高校を卒業し、2023年に熊本大学病院眼科学講座に入局しました。眼科医としてスタートを切ったばかりで、学ぶべきことも多く、上手い出来ないこともあります。松本先生や草野先生のご指導の元、充実した日々を送っております。少しでも地域の先生方や患者さん

のお役に立てるよう精進してまいります。至らない点も多々あるかと存じますが、今後ともよろしくお願いいたします。



皮膚科 医師 **松崎 恵里奈** Erina Matsuzaki

4月より皮膚科で勤務させていただいております松崎恵里奈と申します。2021年3月に熊本大学を卒業し、天草地域医療センターと熊本大学病院で初期研修を行い、熊本大学皮膚科に入局致しました。まだまだ力不足な点もありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



1

外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

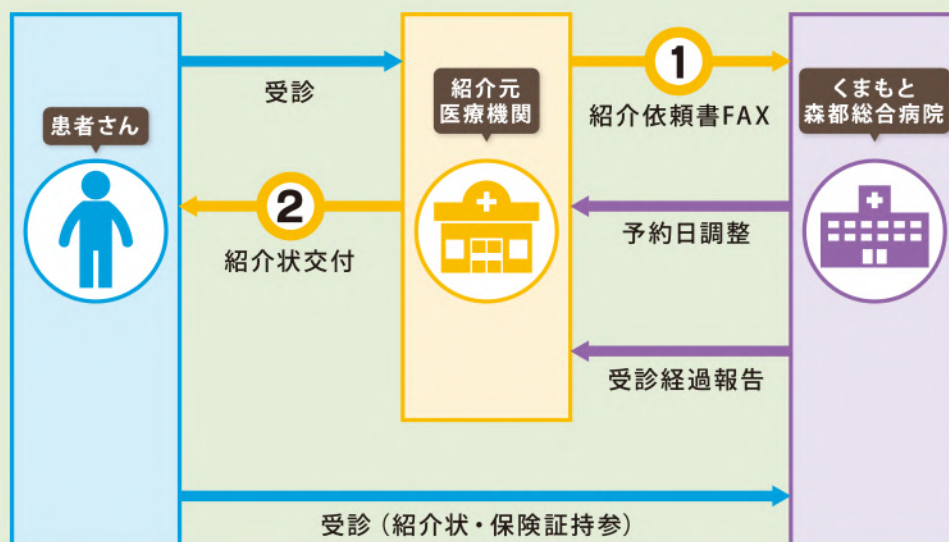
外来予約依頼書を当院地域医療連携室へFAX (096-364-8585) ください。所定書式を準備しております。当院ホームページからダウンロードも可能です。

<https://www.k-shinto.or.jp/> トップページ > 医療関係者の方へ > 患者紹介について

2

患者さんへ紹介状をお渡しいたしますようお願いいたします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。
患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しいたし、受診当日にご持参いただけますようご案内をお願いいたします。



紹介予約 (FAX予約) 受付時間

平日9時00分から16時00分まで

FAX送付先 地域医療連携室

FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

電話紹介 について

緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いいたします。

地域医療連携室 Tel.096-364-9790 Fax.096-364-8585

受付時間 午前 8:00 ~ 11:00 (再来機の受付は7:30より開始) ※急患はこの限りではございません

2024年6月1日現在

		午前/午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕								
総合診療科	午前		濱 諒輔 初診	吉田 健	宮村 智裕	吉田 健	宮村 智裕	
			宮村 智裕 再診	濱 諒輔	吉田 健 再診		濱 諒輔	
	午後				宮村 智裕 再診	診 問		
肝臓・消化器内科	午前		藤山 重俊 袖留木 秀人	宮瀬 志保 泉 見奈	藤山 重俊 東野 奈津己	宮瀬 志保 東野 奈津己	袖留木 秀人 泉 見奈	
	内視鏡担当	午前	宮瀬 志保 東野 奈津己 泉 見奈	東野 奈津己 袖留木 秀人	宮瀬 志保 袖留木 秀人 泉 見奈	袖留木 秀人 泉 見奈	袖留木 秀人 泉 見奈	宮瀬 志保 東野 奈津己
血液内科		午前	藤原 志保 大徳 勇人	藤原 志保 鈴島 仁 宮川 寿一	下村 泰三 渡邊 祐子	藤原 志保 渡邊 祐子	藤原 志保 渡邊 祐子	下村 泰三 宮川 寿一
	午後	下村 泰三	渡邊 祐子		宮川 寿一 鈴島 仁	大徳 勇人		
腫瘍内科	午前	山本 春風					山本 春風	
	午後		山本 春風					
循環器内科	午前	中村 尚太			中村 尚太	中村 尚太	中村 尚太	
	午後	中村 尚太			中村 尚太			
腎臓内科	午前					水足 謙介	水足 謙介	
	午後	水足 謙介						
リウマチ 膠原病内科	午前	高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診			高岡 宏和 再診		
	午後			高岡 宏和 再診				
呼吸器内科	午前			古川 嗣大 (熊大) 再診				
代謝・内分泌内科	午後			有馬 由佳 (熊大) 再診				
外科	午前	横山 幸生 田嶋 ルミ子	手術		横山 幸生	横山 幸生	田嶋 ルミ子	
	午後	手術 検査	手術	手術 検査	手術 検査	検査		
乳腺センター (乳腺外科)	午前	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	
	午前 8:30 ~ 12:00 午後 14:00 ~ 16:00 (完全予約制)	午後	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子	大佐古 智文 中野 正啓 藤末 真実子
		産婦人科	午前	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠
	午後	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	手術	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	永井 隆司 予約 岡島 翠 検査		
整形外科 (完全予約制)	午前		砥上 若菜 再診	高田 興志 再診				
	午後					担当医 再診		
リハビリテーション科	午前				細川 浩 再診			
眼科 (完全予約制)	午前	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴	手術	草野 雄貴 藤崎 雅彦 9:30 診療開始	草野 雄貴 藤崎 雅彦 9:30 診療開始	
		藤崎 雅彦	藤崎 雅彦	藤崎 雅彦 9:30 診療開始				
	午後	松本 光希	松本 光希 9:30 診療開始	松本 光希 9:30 診療開始		松本 光希	松本 光希	
皮膚科 (完全予約制)	午前	田中 憲一郎 松崎 恵里奈	松尾 敦子 松崎 恵里奈	松尾 敦子 田中 憲一郎	訪問診療	城野 昌義 再診	松尾 敦子	
	午後		手術			田中 憲一郎	松崎 恵里奈	
緩和ケア科	午前	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明		橋口 清明	橋口 清明	
腫瘍精神科	午前	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子		木下 裕子		
麻酔科 ペインクリニック (完全予約制)	午前	洲崎 祥子 田口 裕之 (術前診療)		田口 裕之 洲崎 祥子 (術前診療)			田口 裕之 田口 裕之 (術前診療)	
	禁煙外来 (予約制)	午前					田口 裕之	
放射線科 (幸秀明・西東葉子)	午前	担当医	担当医	担当医		担当医	担当医	
	午後	担当医	担当医	担当医		担当医	担当医	